

機械器具 22 検眼用器具
一般医療機器 細隙灯顕微鏡 (JMDN コード 35148000)

スリットランプ BQ900

【禁忌・禁止】

・揮発性溶剤（アルコール、ガソリンなど）や可燃性の麻酔薬が使用されている潜在的な爆発性の環境で本器を使用しないこと。[爆発の危険がある]

【形状・構造及び原理等】

下記に本品のパーツを示す。詳細は取扱説明書 外観図を参照。

＜スリットランプ BQ900 本体＞

質量：12.7kg (付属品無し時)

寸法：330(W)×320(D)×680(H)
[mm] (付属品無し時、最大)



＜アクセサリ類＞ (別売オプション品も含む)

- ・電源ボックス・固視灯付きヘッドレスト
- **・イメージングモジュール IM900、IM910、IM600
- *・眼底モジュール FM-300
- ・ビームスプリッター・ズームオブジェクト
- ・ステレオバリエータ・20 度角アダプタ
- ・コントラストエンハンシングフィルタ
- ・メジャリングアイピース 12.5x
- ・マッキンタイアアイピース 12.5x
- ・アイピース 12.5x クロスヘア付
- ・C マウントアダプタ 1/2"、1/3"、三板ビデオアダプタ
- ・デジタルフォトアダプタ DC01
- ・側視鏡チューブ ショートタイプ、ロングタイプ
- *・プレセット・58.6D レンズ
- ・イルミネーション FI 01f FI 01p
- ・イルミネーションコントロール
- ・コントロールケーブル
- ・電源ケーブル

＜電氣的定格等＞

- **・定格電圧／電源入力：100-240V AC 50-60Hz
- ・電撃に対する保護の形式・程度：クラス I・B 型装着部

＜動作環境＞

温度：10℃～35℃ 相対湿度：30%～90% (結露なきこと)

＜原理＞

鏡筒上部に設置された光源が集光レンズ、スリット機構、フィルタ、対物レンズを経て、ミラーにより反射されて被検眼に達する。このようにして照らされた部位を双眼実体顕微鏡で観察する。

双眼実体顕微鏡は観察者の両眼に対応する左右独立した対物レンズ、変倍光学系、正立プリズム、接眼レンズを持ち、左右で生じる視差から観察部位を立体的に観察できる。

【使用目的又は効果】

＜使用目的＞

本器は、眼球等の観察、検査及び撮影に用いる細隙灯顕微鏡である。また、他の機器と組み合わせ、眼内圧、角膜厚、

前房深度の測定に用いることもある。

【使用方法等】

取扱説明書参照。

＜使用方法に関連する使用上の注意＞

- (1) 本体部、特に投光系（ランプハウス、スリットミラー等）には無理な力は加えないこと。
- (2) 本器を移動する時はなるべく本体を取り外すこと。止むを得ない場合は、本体が回転しないようにヒモ等で固定して、移動するようにすること。
- (3) 光学部品（ミラー、実体顕微鏡等）は汚れやゴミが付着しないように常に注意すること。使用後は付属のダストカバーで器械を覆うこと。
- (4) 操作に際してスムーズな動作が不可能になった時は販売店を通して専門技術者に修理を依頼すること。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- (1) 本品の使用者は、医師及び医師の指示を受けた人だけに限定すること。本器の使用は、如何なる場合も医師の指示に基づいて行うこと。
- (2) カメラ機能は記録を目的としているため診断には用いないこと。

＜過剰使用＞

- (1) 過剰に本器での観察又は測定を行った場合、光障害を起こす恐れがある。
最大光量での連続使用時間は安全規格 (ISO15004-2) で最大 143 秒と規定されています。

＜相互作用＞

- (1) 併用注意
汎用診断・処置テーブルと接続する場合は、ジャパンフォーカス（株）指定のものを使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管条件＞

温度：-10℃～55℃ 相対湿度：10～95% (結露なきこと)
気圧：700～1060hpa

＜耐用期間＞

10 年（自己認証による。電源ユニットや付属品等の本体以外を除く。）

但し取扱説明書に従った使用、適切な保守点検及び修理を行っている場合に限る。

【保守・点検に係る事項】

＜保守点検＞

取扱説明書 保守点検参照。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

ジャパン フォーカス株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-37-18

TEL (03)3815-2611 FAX (03)3815-7284

外国製造業者 HAAG-STREIT AG スイス

緊急連絡先

ジャパンフォーカス株式会社 TEL (03)3815-2611

株式会社 JFC セールスプラン TEL (03)5684-8531

取扱説明書を必ずご参照ください。